

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成18年5月15日公表

平成17年水産加工品生産量（九州）
（陸上加工品生産量）

【調査結果の概要】

九州における平成17年（1～12月）の水産加工品生産量は、次のとおりです。

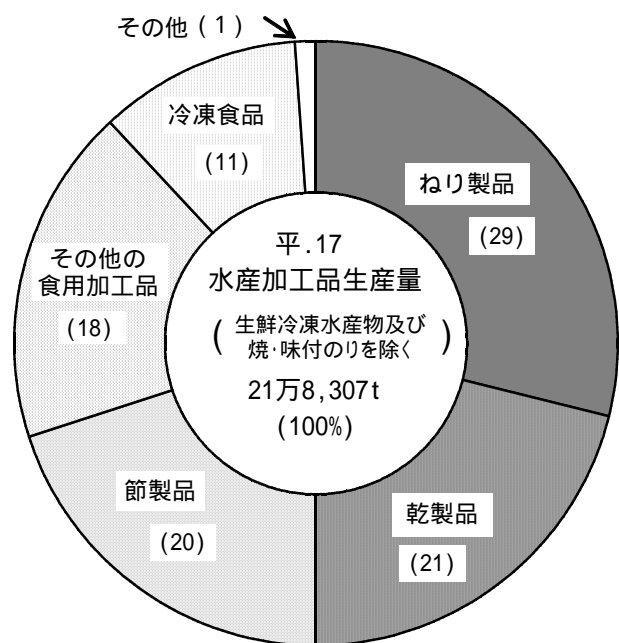
- 1 水産加工品（生鮮冷凍水産物及び焼・味付のりを除く。）の生産量は21万8,307tで、前年並みに
なりました。
これは、乾製品、節製品等は増加したものの、ねり製品、冷凍食品等が減少したためです。
加工種類別の生産量構成割合は、ねり製品が29%で最も高く、次いで乾製品21%、節製品が20%
となっています。
- 2 生鮮冷凍水産物の生産量は27万9,589tで、前年に比べ6,579t（2%）増加しました。
これは、まあじ・むろあじ類、いか類等は減少したものの、さば類、その他の魚類等が増加したた
めです。

表1 加工種類別生産量

加工種類	平.17 t	対前年比 %
計（生鮮冷凍水産物及び 焼・味付のりを除く）	218 307	100
うち、		
ねり製品	64 107	96
冷凍食品	23 573	96
乾製品	45 447	104
節製品	43 820	104
その他の食用加工品	38 383	100
その他	2 977	109
注) 生鮮冷凍水産物	279 589	102

注：水産物の生鮮品（丸のほか、ファイル等を含む。）を冷凍室において凍結したものです。

図1 加工種類別の生産量構成割合



この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html】

この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】P11に掲載しています。

【 解 説 】

1 水産加工生産量

主な加工種類別の生産量は、以下のとおりです。

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は6万4,107tで、前年に比べ2,781t(4%)減少しました。

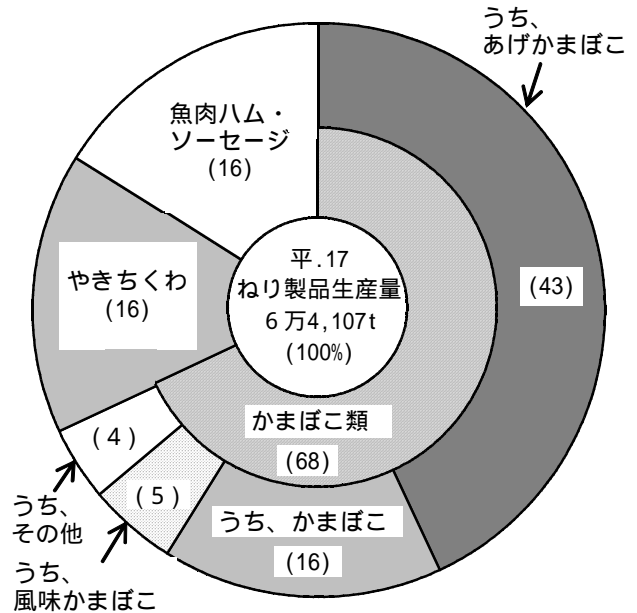
これは、やきちくわ、かまぼこ類、魚肉ハムソーセージ類がそれぞれ減少したためです。

主要品目のかまぼこ類の生産量は4万3,582tで、前年に比べ1,273t(3%)減少しました。

ねり製品の構成割合は、かまぼこ類が68%で最も高く、次いで、やきちくわ、魚肉ハム・ソーセージがともに16%となっています。

九州の主産県は福岡、佐賀、鹿児島、長崎となっています。

図2 ねり製品の構成割合



注：外側の円構成は、内側の円構成を細分類したものです。

(2) 冷凍食品

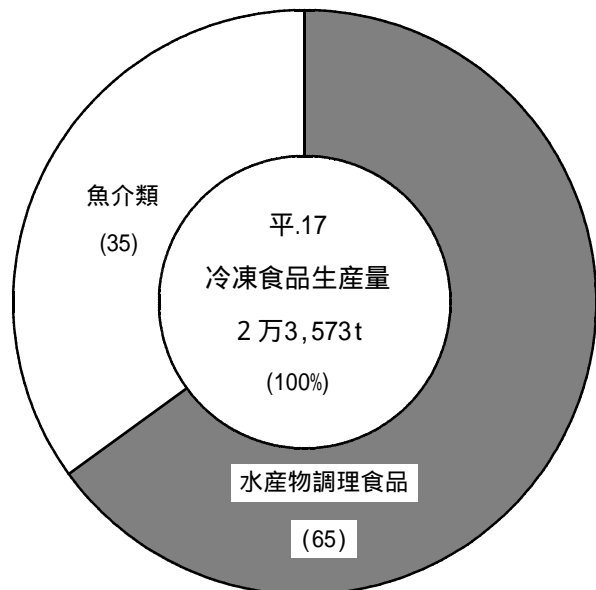
冷凍食品の生産量は2万3,573tで、前年に比べ1,095t(4%)減少しました。

これは、魚介類は増加したものの、水産物調理食品は減少したためです。

冷凍食品の構成割合は、水産物調理食品が65%、魚介類が35%となっています。

九州の主産県は鹿児島、長崎、佐賀となっています。

図3 冷凍食品の構成割合



(3) 乾製品

乾製品の生産量は4万5,447tで、前年に比べ1,909t(4%)増加しました。

主要品目の塩干品の生産量は2万5,359tで、前年並となりました。

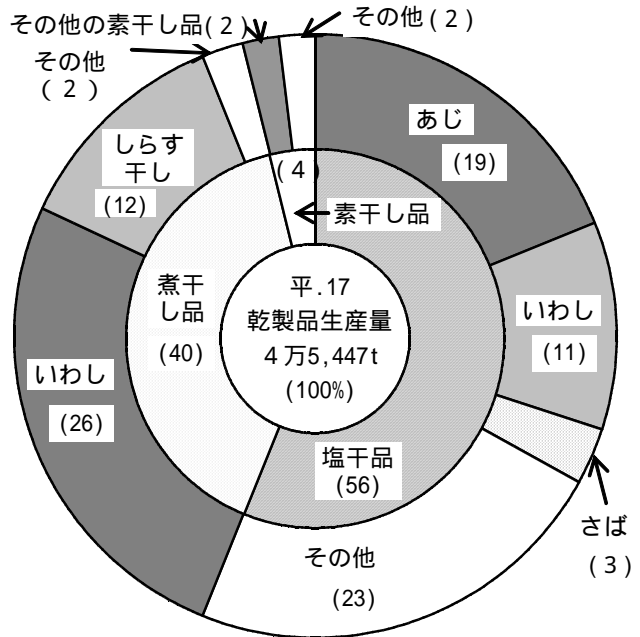
これは、その他製品、ほっけ製品は減少したものの、さば製品、あじ製品が増加したためです。

煮干し品の生産量は1万8,307tで、前年に比べ2,417t(15%)増加しました。

これは、いわし製品、しらす干し製品が増加したためです。

九州の主産県は、長崎、鹿児島で、乾製品のうち、煮干し品の長崎の生産量は全国1位となっています。

図4 乾製品の構成割合



注：外側の円構成は、内側の円構成を細分類したものです。

(4) 節製品

節製品の生産量は4万3,820tで、前年に比べ1,778t(4%)増加しました。

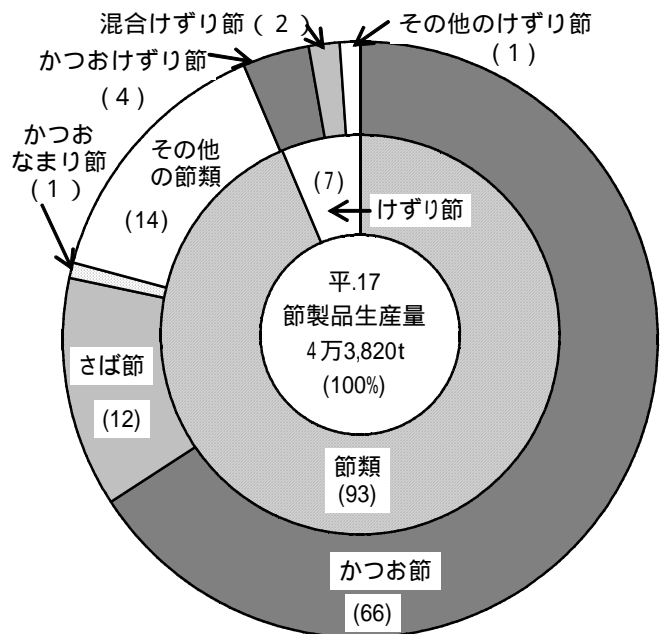
これは、節類、けずり節がともに増加したためです。

節製品の構成割合は節類が93%、けずり節が7%となっています。

また、かつお節、かつおなまり節及びかつおけずり節のかつお製品は、節製品全体の71%を占めています。

九州の主産県は、鹿児島、熊本で、鹿児島が生産量は全国1位となっています。

図5 節製品の構成割合



注：外側の円構成は、内側の円構成を細分類したものです。

(5) その他の食用加工品

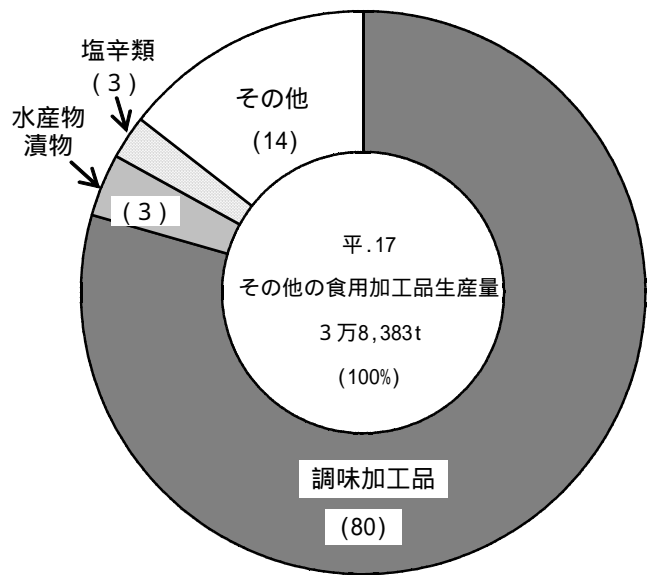
その他の食用加工品は3万8,383tで、前年並みとなりました。

これは、多くの品目で減少するなか、特にからしめんたいこの減少が大きかったものの、その他品目が増加したためです。

その他の食用加工品の構成割合は、調味加工品が80%、水産物漬物、塩辛類がともに3%となっています。

九州の主産県は福岡で、調味加工品のうち、からしめんたいこの生産量は全国1位となっています。

図6 その他の食用加工品の構成割合



2 生鮮冷凍水産物の生産量

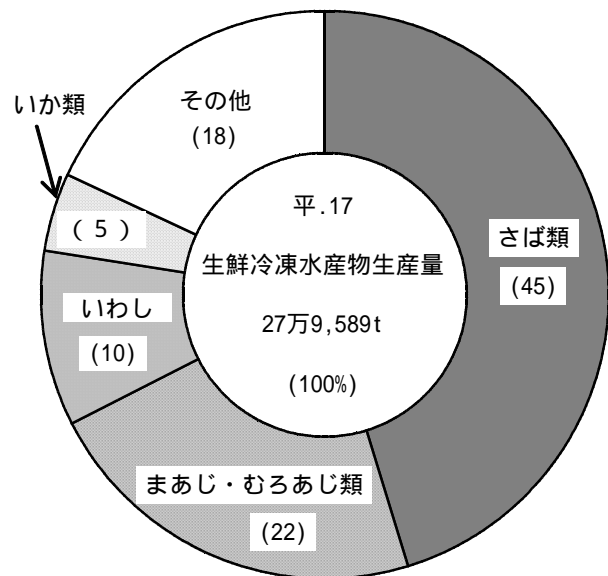
生鮮冷凍水産物の生産量は、27万9,589tで、前年に比べ6,579t(2%)増加しました。

これは、まあじ・むろあじ類、いか類等で減少したものの、さば類、その他の魚類等が増加したためです。

生鮮冷凍水産物の構成割合は、さば類が45%で最も高く、次いでまあじ・むろあじ類22%、いわし類10%、いか類5%となっています。

九州の主産県は長崎、鹿児島、佐賀となっています。

図7 生鮮冷凍水産物の構成割合



【 統 計 表 】

1 品目別生産量

(1) 水産加工品生産量(生鮮冷凍水産物は除く。)

単位：t

品 目	平.17	16	対前年差	対前年比
計	218 307	218 433	126	100
ねり製品	64 107	66 888	2 781	96
やきちくわ	10 307	10 697	390	96
かまぼこ類	43 582	44 855	1 273	97
包装かまぼこ	996	1 106	110	90
かまぼこ	10 038	10 916	878	92
あげかまぼこ	27 493	27 469	24	100
ゆでかまぼこ	629	645	16	98
風味かまぼこ	3 270	3 186	84	103
その他のかまぼこ類	1 156	1 533	377	75
魚肉ハム・ソーセージ類	10 218	11 336	1 118	90
¹⁾ 冷凍食品	23 573	24 668	1 095	96
²⁾ 魚介類	8 327	8 014	313	104
³⁾ 水産物調理食品	15 246	16 654	1 408	92
乾製品	45 447	43 538	1 909	104
素干し品	1 781	2 320	539	77
すめめ	642	617	25	104
にしん	-	-	-	-
いわし	37	53	16	70
その他の素干し品	1 102	1 650	548	67
塩干品	25 359	25 328	31	100
いわし	4 865	4 838	27	101
あじ	8 453	8 355	98	101
さんま	15	19	4	79
さば	1 575	1 438	137	110
かれい	41	48	7	85
ほっけ	369	434	65	85
その他の塩干品	10 041	10 196	155	98
煮干し品	18 307	15 890	2 417	115
いわし	12 082	10 768	1 314	112
しらす干し	5 532	4 283	1 249	129
いかなご・こうなご	0	4	4	...
貝柱	-	-	-	-
その他の煮干し品	693	835	142	83
塩蔵品	x	x
いわし	66	81	15	81
さば	796	965	169	82
さけ・ます	256	219	37	117
たら・すけとうだら	0	50	50	...

注：1) 「冷凍食品」は、水産物を主原料として加工又は調理した後、マイナス18℃以下で凍結し、凍結状態で保持した包装食品です。

2) 「魚介類」は、魚介類の切り身、むきえび等の加工品です。

3) 「水産物調理食品」は、水産物のフライ、天ぷら等、水産物を主原料とした調理食品です。

単位：t

品 目	平.17	16	対前年差	対前年比
				%
塩蔵品(つづき)				
たらこ・すけとうだらこ	1 546	513	1 033	301
さけ・ますの卵	2	2	0	100
かずのこ	41	x
さんま	15	14	1	107
その他の塩蔵品	x	x
くん製品	x	x
節製品	43 820	42 042	1 778	104
節類	40 991	39 408	1 583	104
かつお節	28 808	27 035	1 773	107
かつおなまり節	422	360	62	117
さば節	5 475	5 384	91	102
その他の節類	6 286	6 629	343	95
けずり節	2 829	2 634	195	107
かつおけずり節	1 647	1 718	71	96
混合けずり節	672	495	177	136
その他のけずり節	510	421	89	121
その他の食用加工品	38 383	38 565	182	100
塩辛類	1 046	1 134	88	92
いか塩辛	609	686	77	89
その他の塩辛	437	448	11	98
水産物漬物	1 318	1 570	252	84
醤油漬けさけ・ますの卵	0	232	232	...
その他の水産物漬物	1 318	1 338	20	99
調味加工品	30 519	32 711	2 192	93
水産物つくだ煮類	3 749	3 983	234	94
こんぶつくだ煮	1 003	1 012	9	99
その他のつくだ煮類	2 746	2 971	225	92
乾燥・焙焼・揚げ加工品	6 226	6 062	164	103
さくら干し・みりん干し	2 202	2 266	64	97
いか製品	828	860	32	96
その他の乾燥・焙焼・揚げ加工品	3 196	2 936	260	109
その他の調味加工品	20 544	22 666	2 122	91
からしめんたいこ	18 085	20 407	2 322	89
その他	2 459	2 259	200	109
その他	5 500	3 150	2 350	175
	千枚	千枚	千枚	
⁴⁾ 焼・味付のり	x	x

注：4)は、宮崎及び鹿児島を除く5県で生産されているが、大分において経営体数が3未満であり、秘密保護のため非公表であることから、九州計も非公表となります。参考として、福岡、佐賀、長崎及び熊本の本4県の生産量は19億4,192万枚となりました。

1 品目別生産量(つづき)

(2) 生鮮冷凍水産物生産量

単位：t

品 目	平.17	16	対前年差	対前年比
¹⁾ 生鮮冷凍水産物	279 589	273 010	6 579	102
まぐろ類	2 553	2 342	211	109
びんなが	547	398	149	137
めばち	472	513	41	92
きはだ	1 081	1 184	103	91
その他のまぐろ類	453	247	206	183
かつお類	5 304	5 486	182	97
さけ・ます類	1 689	1 277	412	132
いわし類	27 857	32 208	4 351	86
まいわし	1 545	2 327	782	66
その他のいわし類	26 312	29 881	3 569	88
まあじ・むろあじ類	62 133	76 642	14 509	81
さば類	126 799	97 613	29 186	130
さんま	496	1 128	632	44
たら類	121	183	62	66
まだら	107	104	3	103
すけとうだら	14	79	65	18
ほっけ	0	12	12	...
いかなご・こうなご	560	3 234	2 674	17
その他の魚類	30 818	24 930	5 888	124
貝類	1 429	1 288	141	111
ほたてがい貝柱	0	34	34	...
ほたてがい	9	4	5	225
その他の貝類	1 420	1 250	170	114
いか類	12 683	19 605	6 922	65
するめいか	10 795	12 344	1 549	87
その他のいか類	1 888	7 261	5 373	26
その他の水産動物類	2 924	3 129	205	93
すり身	4 223	3 933	290	107
すけとうだら	-	-	-	-
いわし・さば	1 368	1 215	153	113
ほっけ	-	-	-	-
その他のすり身	2 855	2 718	137	105

注：1) 「生鮮冷凍水産物」は、水産物の生鮮品(丸のほか、フィレー等含む。)を凍結室において凍結したものです。

なお、すり身にして凍結したものは、「すり身」として別掲し、計に含めています。

1 品目別生産量（つづき）

（3）九州及び県別の主要品目別生産量

単位：t

品 目	九州	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
1) 計	218 307	52 041	23 593	32 111	20 358	15 019	7 872	67 313
ねり製品	64 107	26 326	11 450	9 014	3 978	1 324	1 609	10 406
やきちくわ	10 307	x	x	x	x	59	137	x
かまぼこ類	43 582	12 972	8 083	8 004	2 020	1 265	1 472	9 766
魚肉ハム・ソーセージ類	10 218	x	x	x	x	-	-	x
2) 冷凍食品	23 573	1 834	3 442	5 217	x	2 596	x	7 078
3) 魚介類	8 327	1 407	30	4 202	x	709	x	1 763
4) 水産物調理食品	15 246	427	3 412	1 015	2 079	1 887	1 111	5 315
乾製品	45 447	2 833	4 457	14 016	2 127	7 412	3 061	11 541
素干し品	1 781	11	136	525	x	46	x	918
塩干品	25 359	2 649	3 950	3 915	x	5 713	x	8 387
煮干し品	18 307	173	371	9 576	2 011	1 653	2 287	2 236
塩蔵品	x	1 677	308	780	x	x	47	x
くん製品	x	-	-	3	-	x	x	x
節製品	43 820	566	33	195	9 053	10	664	33 299
節類	40 991	1	13	28	8 652	0	413	31 884
けずり節	2 829	565	20	167	401	10	251	1 415
その他の食用加工品	38 383	18 805	3 903	2 886	2 912	3 629	1 365	4 883
塩辛類	1 046	228	101	513	109	4	6	85
水産物漬物	1 318	x	839	8	x	x	x	130
調味加工品	30 519	18 285	2 963	2 102	2 720	2 006	1 298	1 145
その他	5 500	x	-	263	x	x	x	3 523
5) 焼・味付のり（単位：千枚）	x	899 376	280 201	156 652	605 692	x	-	-
6) 生鮮冷凍水産物	279 589	17 363	59 497	102 606	1 063	19 008	11 687	68 365

注：1）「計」には、焼・味付のり、生鮮冷凍水産物は含みません。

2）「冷凍食品」は、水産物を主原料として加工又は調理した後、マイナス18℃以下で凍結し、凍結状態で保持した包装食品です。

3）「魚介類」は、魚介類の切り身、むきえび等の加工品です。

4）「水産物調理食品」は、水産物のフライ、天ぷら等、水産物を主原料とした調理食品です。

5）「焼・味付のり」の生産量は、板のりに換算した枚数です。

6）「生鮮冷凍水産物」は、水産物の生鮮品（丸のほか、フィレー等含む。）を凍結室において凍結したものです。

2 加工種類別経営体数

単位：経営体

品 目	平.17	16	対前年差	対前年比
				%
¹⁾ 実経営体数	1 959	2 025	66	97
²⁾ 延べ経営体数	2 988	3 040	52	98
ねり製品	576	594	18	97
³⁾ かまぼこ類	571	588	17	97
魚肉ハム・ソーセージ類	5	6	1	83
冷凍食品	117	118	1	99
乾製品	948	975	27	97
素干し品	161	169	8	95
塩干品	429	430	1	100
煮干し品	358	376	18	95
塩蔵品	47	49	2	96
くん製品	9	7	2	129
節製品	216	220	4	98
その他の食用加工品	778	781	3	100
塩辛類	150	154	4	97
水産物漬物	50	49	1	102
調味加工品	523	529	6	99
水産物つくだ煮類	80	86	6	93
乾燥・焙焼・揚げ加工品	250	251	1	100
その他の調味加工品	193	192	1	101
その他	55	49	6	112
焼・味付のり	62	61	1	102
生鮮冷凍水産物	235	235	0	100

注：1) 「実経営体数」は、調査対象となった実際の経営体数です。

2) 「延べ経営体数」は、経営体が生産している加工種類別に経営体数をカウントした合計です。

3) 「かまぼこ類」は、「やきちくわ」の経営体も含まれます。

2 加工種類別経営体数(つづき)

九州及び県別の加工種類別経営体数

単位：経営体

品 目	九州	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
¹⁾ 実経営体数	1 959	271	134	620	214	156	137	427
²⁾ 延べ経営体数	2 988	342	207	1 007	278	261	279	614
ねり製品	576	94	38	185	75	35	31	118
³⁾ かまぼこ類	571	93	37	184	74	35	31	117
魚肉ハム・ソーセージ類	5	1	1	1	1	-	-	1
冷凍食品	117	9	7	35	4	15	4	43
乾製品	948	33	55	383	59	100	132	186
素干し品	161	4	17	83	2	16	22	17
塩干品	429	20	26	156	17	36	55	119
煮干し品	358	9	12	144	40	48	55	50
塩蔵品	47	14	5	15	1	2	4	6
くん製品	9	-	-	4	-	1	2	2
節製品	216	16	3	22	37	3	20	115
その他の食用加工品	778	135	57	291	74	75	60	86
塩辛類	150	13	10	72	13	17	8	17
水産物漬物	50	5	12	12	4	2	2	13
調味加工品	523	115	35	174	55	48	49	47
水産物つくだ煮類	80	12	2	17	17	12	7	13
乾燥・焙焼・揚げ加工品	250	18	24	111	27	12	39	19
その他の調味加工品	193	85	9	46	11	24	3	15
その他	55	2	-	33	2	8	1	9
焼・味付のり	62	21	16	5	19	1	-	-
生鮮冷凍水産物	235	20	26	67	9	29	26	58

注：1) 「実経営体数」は、調査対象となった実際の経営体数です。

2) 「延べ経営体数」は、経営体が生産している加工種類別に経営体数をカウントした合計です。

3) 「かまぼこ類」は、「やきちくわ」の経営体も含まれます。

4) 「割合」は、実経営体数に対する加工種類別経営体数の割合です。

【調査の仕様】

1 調査の目的

この資料は、水産加工統計調査の結果から九州管内分について取りまとめたものです。

水産加工統計調査は、陸上加工における水産加工品の生産量を把握することを目的として実施しているものです。

2 調査の対象

全国の水産加工品を生産するすべての陸上加工経営体を調査対象としています。

なお、陸上加工経営体とは、販売を目的とした水産加工品を生産する加工場又は加工施設を有し、専門の従業者がいる経営体をいいます。

3 調査客体数

調査客体数は、1,959経営体です。

4 調査期間

平成17年1月1日から12月31日までの1年間です。

5 調査方法

- (1) 統計調査員又は職員による面接調査
- (2) 統計調査員又は職員による調査票の配付、郵送調査による自計申告調査

6 集計方法

各陸上加工経営体別の調査結果の単純積み上げとしました。

7 目標（実績）精度

水産加工統計調査においては、目標精度は設定していません。

8 用語の解説

- (1) 水産加工品とは、販売を目的として生産された食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいいます。
ただし、原則として、海藻製品、水産缶詰・瓶詰、単にゆでただけのもの等を除きます。
- (2) 同一経営体が一貫加工を行った場合は、最終段階の該当品目にその生産量が計上されています。（例えば、かつおからかつお節を製造し、更に、けずり節を製造した場合は、けずり節の生産量のみが計上されます。）
ただし、生鮮品を凍結した後に加工した場合には、生鮮冷凍水産物及び該当加工品として、それぞれ計上されます。
- (3) 水産加工品生産量の計には、焼・味付のりの生産量は含んでいません。

9 その他

平成17年の数値は概数であり、確定値及び船上加工生産量は、『平成17年水産物流通統計年報』に記載します。

【統計表の見方等】

表中の記号は、以下のとおりです。

- 「 - 」 事実のないもの
- 「 0 」 単位に満たないもの
- 「 ... 」 事実不祥又は調査を欠くもの
- 「 」 減少したもの
- 「 x 」 秘密保護上、数値を公表しないもの

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 流通消費統計第2係

電 話：(代) 096 - 353 - 3561 内線 4758

直通電話： 096 - 353 - 7579

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電 話：(代) 096 - 353 - 3561 内線 4723

直通電話： 096 - 353 - 7556